

◎心理学のための英語表現を理解し、活用するために

心理学英語 [精選] 文例集

高橋雅治・D.W.シュワープ・B.J.シュワープ 著

A5判 400頁 定価(本体6,800円+税) (ISBN 978-4-254-52021-7)

- 実際の論文から抽出した約1300の例文を執筆や読解の参考になるように整理・紹介。
- 論文の構成に応じた章立てで文例を分類。原文にくわえて、表現パターン、和訳などで構成。
- 心理学分野特有の表現が満載の「使える!」文例集
- 詳細な目次から「内容」を手掛かりに、充実した索引からは「思い浮かんだキーワード」から、「知りたい」表現パターンにたどりつけます。

2019年1月刊行



▼目次

1. 本書の使い方

本書の特徴/英語表現を見つけ出す方法/文章パターンの使い方/質の高い英語論文を書くために/スムーズ・バリエーションとエレガント・バリエーション/おわりに

2. 著者注(Author Note)

所属/謝辞/特記事項/連絡先

3. 要約(Abstract)

背景/目的/方法/結果/考察

4. 序文(Introduction)

研究の背景/先行研究の知見/先行研究の理論的・実践的な帰結/理論・モデル・仮説/先行研究のトピック/先行研究の問題点/本研究のテーマ・関心・目的/内容の予告/一連の実験をつなぐ

5. 方法(Method)

参加者・被験体/装置/材料・刺激・薬品・課題/教示/場所/データ/心理検査/研究デザイン/具体的な手続き/試行・ブロック・セッション/予備的研究/観察者による符号化・点数化/操作チェック/インタビュー/ウェブ調査/倫理的

ガイドラインの遵守/動物学習/薬物・神経科学/データの欠損/統計/メタ分析/統計ソフトウェア

6. 結果(Results)

参加者/データの分析と結果の傾向/統計的解析/表への言及/図への言及/付録への言及

7. 考察(Discussion)

目的・仮説・内容の再確認/知見の再確認/仮説や予測との一致・不一致/先行研究との一致・不一致/知見の意味/知見の説明・原因・理由/知見の重要性・貢献/限界・短所・長所/今後の展開の可能性/要約と結論

8. 表の説明

題名/一般注/特定 注と確率注

9. 図の説明

題名/上下,または,左右のパネルの説明/縦軸と横軸・凡例・略語・再掲の説明

引用文献

索引

好評既刊 心理学のための 英語論文の基本表現

高橋雅治・

D.W. シュワープ・B.J. シュワープ 著

A5判 208頁 定価(本体3,000円+税)

ISBN978-4-254-52018-7

実際の論文から集めた約400の例文を、文章パターンや解説、和訳とあわせて提示。アメリカ心理学会(APA)のマニュアルも解説。



心理学のための 英語論文の書き方・考え方

羽生和紀 著

A5判 196頁

定価(本体2,800円+税)

ISBN978-4-254-52019-4

英語論文の発想や考え方からスタイル・投稿の心構えまでわかりやすく解説。



3.4 結 果

3.4.1 具体的な結果

0050 変数の関係をまとめる。

- ◆ There was a direct relationship between X and Y.

XとYとの間には直接的な関係があった。

There was a direct relationship between the intensity of running withdrawal symptoms.

ランニングの強度と離脱症状の重症度との間には直接的な関係があっ

0051 媒介変数をまとめる。

- ◆ X was [Ys were] mediated by Y.

Xは、Yにより媒介されていた。

These relationships were mediated by students' beliefs that confiding in unfavorable consequences.

これらの関係は、教師に打ち明けると好ましくない結果につながるが、学生の信念により媒介されていた。

0052 使用したデータと結果をまとめて述べる。

- ◆ X indicated that YYY and that ZZZ.

Xは、YYYということ、および、ZZZということを示した。

Feedback from the students indicated that this hands-on experience satisfaction with the course and that it provided an opportunity to the research.

学生からのフィードバックは、この実地体験が科目に対する満足度に寄与し、研究について批判的に考える機会を提供したことを示した。

0053 投与量と結果をまとめて述べる。

- ◆ X (M-N g/kg) [dose-dependently /dose-independently] decreased Y, and Z.

X (M-N g/kg) は、[投与量依存性の/投与量非依存性の] Yを減少させ、Zを Ethanol (1.0~1.4 g/kg) dose-dependently decreased anxiety and learning, locomotion.

エタノール (1.0~1.4 g/kg) は、投与量依存的に、不安と学習を減少させ、運動を

0054 統計的分析の種類と結果をまとめて述べる。

- ◆ Confirmatory factor analyses demonstrated that the structure of X was best by Y.

確認的因子分析は、Xの構造が、Yにより最もよく説明されることを例

表現したいこと

文章パターン

文章パターンの和訳

実際の例文

例文の和訳

出典となった文献の番号
(巻末に引用文献一覧を掲載)

表5. 作業記憶容量と、低値項目(想起1~7)の想起、高値項目(想起8~12)の想起、選択性指標の間の相関係数。

8.2 一般注

8.2.1 データについての一般注

1234 サンプルサイズ、欠損値を述べる。

- ◆ Note. N = X. M [additional] participants had missing data [that prevented classification].

注: N = Xである。M名の[追加的な]参加者は[分類できない]欠損値を示した。

Note. N = 1,990. Twelve participants had missing data that prevented classification. (51)

注: N = 1990である。12名の参加者は分類できない欠損値を示した。

1233 構造方程式モデルの標準化パス係数の表の注で、適合度の値を述べる。

- ◆ Note. Model fit: χ^2 (X) = A; comparative fit index [CFI] = B; root-mean-square error of approximation [RMSEA] = C.

5.7 心理検査

167

In this study, we measured middle and high school students' sense of community at school in two ways. First, we tapped their reports of the general climate and relationships among students at school. Second, we measured students' personal assessment of how they and their friends fit into the culture of their schools. (58)

本研究において、我々は、中学生と高校生の学校におけるコミュニティ感覚を2つの方法で測定した。まず、全般的な学校風土についての学生の報告と学校における学生関係についての学生の報告をテープに録音した。さらに、学生本人や学生の友達が学校の文化に合っているかどうかについての学生の個人的な評価を測定した。

0605 日記によりあるデータを記録させたことを述べる。

- ◆ The diaries required X to write down Y.

日記は、Yについて書きとめることをXに要求した。

The diaries required patients to write down panic attacks and instances of self-exposure using paper diaries. (1)

紙面による日記を用いて、患者にパニック発作と自己曝露の例を日記に書きとめることを要求した。

5.7 心理検査

5.7.1 内容・目的

0606 心理検査の実施と目的を述べる。

- ◆ X tests were administered to assess Y.

X検査が、Yを評価するために行われた。

A number of neuropsychological tests were administered to assess basic cognitive abilities. (47)

多くの神経心理学的検査が、基本的な認知能力を評価するために行われた。

0607 あることを質問紙で評価したことを述べる。

- ◆ X was assessed using the Y (abbreviation for Y; Author, year).

Xは、Y (Yの略語; 著者、発表年) により評価された。

Quantity of alcohol consumption was assessed using the Daily Drinking Questionnaire (DDQ; Collins, Parks, & Marlatt, 1985). (29)

アルコール消費量は、日常的飲酒質問紙 (DDQ; Collins, Parks, & Marlatt, 1985) により評価された。

0608 あることを尺度で評価したことを述べる。

- ◆ Author's (year) scale of X was used to assess Y.

著者 (発表年) のX尺度が、Yを評価するために用いられた。

きりとり線

【お申し込み書】この申し込み書にご記入のうえ、最寄りの書店にご注文下さい。

心理学英語 [精選] 文例集

定価 (本体 6,800 円 + 税) (52021-7)

取扱書店

冊

●お名前

☐ 公費 / ☐ 私費

●ご住所 (〒) TEL

朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町 6-29 / 振替 00160-9-8673

電話 03-3260-7631 / FAX 03-3260-0180

http://www.asakura.co.jp / eigyo@asakura.co.jp

価格表示は 2018 年 12 月現在